

令和7年度 教育課程編成の全体構想図

○日本国憲法 ○教育基本法・学校教育法 ○文部科学省施策 ○中央教育審議会答申 ○学習指導要領 ○沖縄県教育振興基本計画 ○学校教育における指導の努力点 ○那覇市学力向上推進計画 ○那覇市の学校教育	学校教育目標 人とのつながりを大切に 未来地域社会を担う生徒を育む 1 知 学習・行事等で主体的・計画的に取り組む生徒 2 徳 コミュニケーションを大切にする生徒 3 体 心身の健康を最優先する生徒 4 国際 世界共通の目的を理解しようとする生徒 5 地域 地域の伝統文化等を大切にする生徒	生徒の実態 ○学習や諸行事、部活動等へ主体的に取り組んでいてよい。 ○家庭学習等の計画性に課題がある。 ○一部の特性のある生徒が学習規律を乱している。																									
学習指導要領（教育課程編成の留意事項） ○生徒の言語環境の整備と言語活動の充実 ○生徒指導の充実 ○ガイダンス機能の充実 ○指導方法や指導体制の工夫改善など個に応じた指導の充実 ○海外から帰国した生徒や外国人の生徒の指導 ○学校図書館の利活用 ○部活動の意義と留意点等 ○体験的・問題解決的な学習及び自主的・自発的な学習の促進 ○進路指導の充実 ○見通しを立てたり、振り返ったりする学習活動の重視 ○障がいのある生徒の指導 ○情報教育の充実、コンピュータ等や教材・教具の活用 ○指導と評価の一体化及び工夫改善 ○家庭や地域社会との連携及び学校相互の連携や交流																											
教育課程 教育課程編成の方針 ○教育基本法等における教育の理念を踏まえ「生きる力」を育成する。 ○地域資源の態様（人的・物的）をふまえ、「社会に開かれた教育課程」の推進を図る。 ○道徳教育や体育などの充実により、豊かな心と健やかな体を育成する。 本校の基本方針 ○校長の指導のもと、全教職員で適切な教育課程を編成する。 ○地域や学校の実態及び生徒の心身の発達の段階や特性、並びに保護者の願いを考慮して学校の創意工夫を生かした編成を行う。 ○週時程や日課表の工夫及び行事等の精選を図り、各教科等の標準授業時数を確保する。 教育課程編成の重点 ○「学びに向かう力、人間性等の涵養」「生きて働く知識・技能の習得」「思考力、判断力、表現力等の育成」の実現。 ○「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善。																											
指導の重点 <table><tr><td>各教科</td><td>道徳科</td><td>総合的な学習の時間</td><td>特別活動</td><td>キャリア教育</td></tr><tr><td>○授業力向上(授業改善)の推進。</td><td>○道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から、多面的・多角的に考え、人間としての生き方について考えを深める。</td><td>○自ら考え、調べ、表現していく自発的な能力の育成。</td><td>○多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要なことについて理解し、行動の仕方を身につけるようにする</td><td>○キャリア教育で身につけさせたい基本的・凡用的能力を育成する。</td></tr><tr><td>○主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業展開。</td><td>○道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。</td><td>○自らの学びを振り返り、それを表現する力を育てる。</td><td>○集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図り、意思決定ができるようにする。</td><td>○計画的・組織的・系統的に進路指導を行い自らの生き方を考え、主体的に進路を選択することができる生徒を育成する。</td></tr><tr><td>○言語活動の充実を図る授業の工夫。</td><td></td><td>○「探究力」「表現力」「共生力」の総合的な伸張を図る。</td><td>○集団活動を通して身につけたことを生かし、社会生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。</td><td></td></tr><tr><td>○学習規律の確立。</td><td></td><td>○広く社会を見つめ自らの生き方を想像する態度を育てる。</td><td></td><td></td></tr></table>			各教科	道徳科	総合的な学習の時間	特別活動	キャリア教育	○授業力向上(授業改善)の推進。	○道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から、多面的・多角的に考え、人間としての生き方について考えを深める。	○自ら考え、調べ、表現していく自発的な能力の育成。	○多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要なことについて理解し、行動の仕方を身につけるようにする	○キャリア教育で身につけさせたい基本的・凡用的能力を育成する。	○主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業展開。	○道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。	○自らの学びを振り返り、それを表現する力を育てる。	○集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図り、意思決定ができるようにする。	○計画的・組織的・系統的に進路指導を行い自らの生き方を考え、主体的に進路を選択することができる生徒を育成する。	○言語活動の充実を図る授業の工夫。		○「探究力」「表現力」「共生力」の総合的な伸張を図る。	○集団活動を通して身につけたことを生かし、社会生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。		○学習規律の確立。		○広く社会を見つめ自らの生き方を想像する態度を育てる。		
各教科	道徳科	総合的な学習の時間	特別活動	キャリア教育																							
○授業力向上(授業改善)の推進。	○道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から、多面的・多角的に考え、人間としての生き方について考えを深める。	○自ら考え、調べ、表現していく自発的な能力の育成。	○多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要なことについて理解し、行動の仕方を身につけるようにする	○キャリア教育で身につけさせたい基本的・凡用的能力を育成する。																							
○主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業展開。	○道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。	○自らの学びを振り返り、それを表現する力を育てる。	○集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図り、意思決定ができるようにする。	○計画的・組織的・系統的に進路指導を行い自らの生き方を考え、主体的に進路を選択することができる生徒を育成する。																							
○言語活動の充実を図る授業の工夫。		○「探究力」「表現力」「共生力」の総合的な伸張を図る。	○集団活動を通して身につけたことを生かし、社会生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。																								
○学習規律の確立。		○広く社会を見つめ自らの生き方を想像する態度を育てる。																									
校内研修の重点 ○研究テーマ（令和7年度） 「自立した学習者の育成」 ～個別最適な学びと協働的な学びの充実を図る単元内自由進度学習の実践～ ○研修内容 □ 指導主事要請授業研究会 □ 教科経営案・年間指導計画の作成と評価の工夫に関すること □ 学力向上推進に係わる研究（1人1授業の実施） □ ESD 3つの能力・態度を焦点化した学習指導の工夫・改善 マネジメントサイクルの概要 <table><tr><td>R 7</td><td>4月</td><td>教育課程の保護者説明</td></tr><tr><td></td><td>～</td><td>教育課程の実施(D)</td></tr><tr><td></td><td>5月</td><td>教育課程の評価・分析(C)</td></tr><tr><td></td><td>～</td><td>教育課程の改善(A)</td></tr><tr><td>R 8</td><td>12月</td><td>教育課程の評価・分析(C)</td></tr><tr><td></td><td>3月</td><td>令和8年度教育課程編成(P)</td></tr></table>			R 7	4月	教育課程の保護者説明		～	教育課程の実施(D)		5月	教育課程の評価・分析(C)		～	教育課程の改善(A)	R 8	12月	教育課程の評価・分析(C)		3月	令和8年度教育課程編成(P)							
R 7	4月	教育課程の保護者説明																									
	～	教育課程の実施(D)																									
	5月	教育課程の評価・分析(C)																									
	～	教育課程の改善(A)																									
R 8	12月	教育課程の評価・分析(C)																									
	3月	令和8年度教育課程編成(P)																									
学習指導の方針及び工夫 ○各教科等相互関連を図り、「授業改善」を通じた学習指導の充実に取り組む。 ○「コミュニケーション能力の育成」と「学習集団づくり」に向けた指導の体制や方法の工夫・改善を図る。 ○「指導と評価の一体化」に向けた取組の充実を図る。 ○学習規律の確立に向けた共通実践の充実を図る。 ○学習指導要領にもとづいた学習内容の重点化・焦点化（R6から3か年計画） 生徒指導・進路指導の方針及び工夫 ○学年・学級経営の充実を図り、教師と生徒の信頼関係、生徒相互の望ましい人間関係を育てる。 ○生徒理解の充実に努め、自己実現に向けた積極的な支援の充実を図る。 ○夢や希望を持ち、自らの生き方を考え、その実現に向けた行動ができる生徒の育成を図る。																											
授業時数・日課表・時間割 ○年間授業時数は標準時数を確保して計画する。 ○授業の1単位時間は50分とし、週授業時数は1学期29.5時間、2学期28.5時間とする。 ○各教科等に充てる総授業時数は年間35週以上37週未満で計画する。 ○日課は30日課、50日課、テスト日課を設定する。	指導計画作成等の年次計画 <table><tr><td>R 7</td><td>○年間指導計画・評価計画の実践</td></tr><tr><td></td><td>○小中一貫教育関連（指導系統表の作成）</td></tr><tr><td>R 8</td><td>○実施と改善</td></tr><tr><td></td><td>○次年度計画の作成</td></tr></table>	R 7	○年間指導計画・評価計画の実践		○小中一貫教育関連（指導系統表の作成）	R 8	○実施と改善		○次年度計画の作成	諸条件の整備 ○地域教育資源の活用促進 ○学習センターとしての学校図書館機能充実 ○OJT研修等の充実による人材育成・活用 ○第三者評価の実施による学校運営の充実 ○家庭・地域との協力・連携強化 ○部活動の適切な運営と地域人材活用																	
R 7	○年間指導計画・評価計画の実践																										
	○小中一貫教育関連（指導系統表の作成）																										
R 8	○実施と改善																										
	○次年度計画の作成																										